

令和5年度 林業普及週間現地情報 (3/18~3/24)

森林管理課

第4回八重山林業研究会の開催

3月21日 (木)

令和6年3月21日(木)、第4回八重山林業研究会として西表熱帯林育種技術園における試験研究及び石垣市内での古民家再生現場の見学を行った。

はじめに、西表熱帯林育種技術園において、石垣市が育苗しているセンカクツツジの樹勢回復のため、園長の千吉良氏に用土の入替を実演していただいた。

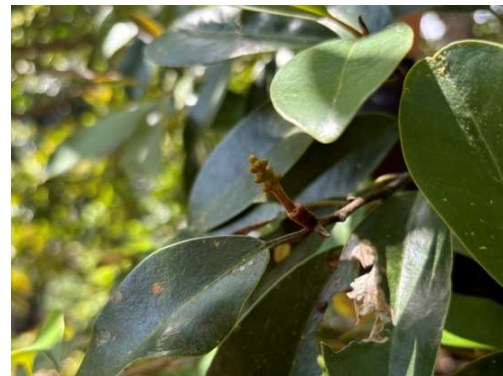
水はけを良くするため軽石を鉢の下部に敷き詰めたのち、ツツジは酸性土を好むことから鹿沼土(微粒)、ピートモス、赤玉を混入した用土に植え替えを行った。

続いて、タイワンオガタマノキの挿し木及び実生繁殖の状況を見学した。播種した苗を通常のポットとロングポットで育苗しており、現時点で通常のポット苗の方が生育が良い状態であった。また、タイワンオガタマノキは高い位置に枝や種が付き、自生木から種を採取することが難しいことから、低い位置で着果させ種子採取を容易にすることを目的に実施している接ぎ木試験地を見学した。

その後、石垣市宮良地区にて古民家再生事業を行っている株式会社かりゆしハウスの味間氏に移築元の古民家を案内していただいた。そして、事業を始めた経緯や島産材の利活用についての考えをお話いただき、森林を適切に整備し、利用可能な材を地域で消費することの意義を改めて考える良い機会となった。



タイワンオガタマノキ播種苗木



タイワンオガタマノキ着果(初期)



センカクツツジの植え替え



解体中の古民家

(報告者：八重山農林水産振興センター 小菅、金城)